

区民生活・福祉向上！中小企業を守れ！

第2回区議会定例会報告

このほど、江戸川区議会平成20年第2回定例会が行われました。区議会公明党は、区民生活の向上と区民福祉向上、さらに安全・安心な街を創り出すために当面する諸課題について多田正見区長に代表質問、一般質問をいたしました。ここでは、この質疑の要旨をお知らせします。

代表質問

① 質問

後期高齢者医療制度の現状について、区長の見解は

答弁

現状においては、後期高齢者医療制度を適正に運営することが重要であるが、同時に将来的な医療保険制度のあり方について、抜本的な議論を深めることも必要である。



② 質問

地球温暖化対策について、ESCO事業の効果・実績は

答弁

5年契約のうちの1年が経過したばかりであり、成果を見極めるには時期尚早であるが、概ね期待した成果を達成している。他の施設については、ESCO事業に依らずとも、技術的な努力によって同様の効果を得ることができると考えている。

③ 質問

「クールアースデー」の創設、ライトダウンの実施を

答弁

出来るだけ協力したい。



④ 質問

原油の高騰と諸物価高騰について学校給食等への影響は

答弁

(教育長) 食材料費は昨年度と比較して高くなっているが、給食費に影響させることなく、栄養士の工夫等によって対応している。

⑤ 質問

原油高、鋼材などの資材価格が急騰し中小企業の経営が厳しくなっている公共工事において資材価格が高騰した場合、契約締結後で契約金額を変更が出来る「単品スライド条項の適用」を

答弁

国や都と同じように、本区も実施する方向である。



⑥ 質問

子育て支援「すくすくカード」と熟年者の元気応援「いきいきカード」の創設を

答弁

熟年者の介護ボランティア活動等に応じて、介護保険料を配慮する仕組みについて、現在検討している。

⑦ 質問

小岩駅周辺開発事業の推進を

答弁

地域と協力しながら、基本構想の取りまとめ等に努める。

篠崎文化プラザ

7月6日オープン!

平成20年7月6日、篠崎駅西口に、篠崎文化プラザがオープンしました。この施設は全国に向けて区の魅力を発信する企画展示ギャラリーや大人向けで約6万冊の蔵書を有する篠崎図書館、江戸川総合人生大学の拠点キャンパスなど、様々な機能を持つ複合施設です。また、この建物の地下には2800台の自転車が収容できる篠崎駅地下駐輪場も設置されています。

